

次期広域地方計画のキャッチフレーズ・ロゴについて

国土交通省 四国地方整備局
四国圏広域地方計画推進室
令和8年1月23日

四国圏広域地方計画

～圏域を越えた対流で世界へ発信～
「癒やし」と「輝き」で未来へ



平成28年3月
国土交通省

四国圏広域地方計画

～個性と人・自然・文化が響きあう～
いきいき、新しい四国のかたち



令和8年〇月
国土交通省

キャッチフレーズの検討

新たな四国圏広域地方計画では、これまで検討してきた**四国圏の将来像と目標を基にキャッチフレーズ**を検討。

検討にあたっては四国圏の目標を達成するための最重要の課題『**全国より早く進行している人口減少**』への**対応**を踏まえ検討。

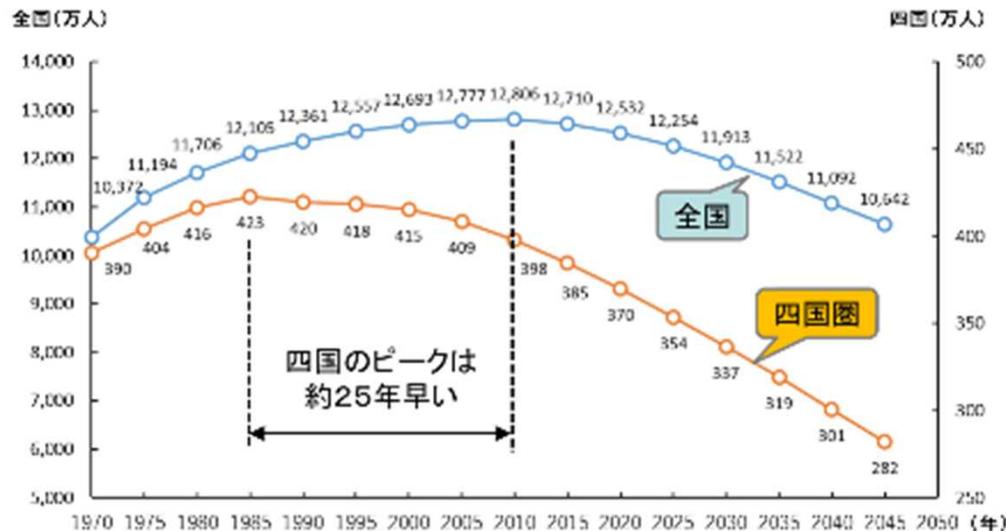
■ 将来像と目標

四国圏の将来像	強くしなやかに自然と共生する 安全・安心な四国		人と地域が混ざり合い 新たな魅力を創造する四国	誰もが活躍し、 豊かに暮らせる四国		
四国圏の目標	①南海トラフ地震や風水害に対応する安全・安心な四国	②気候変動対策や自然環境の保全・利活用により自然と共生する四国	③個性ある地域が連携して活力あふれる四国	④歴史・文化、風土を活かした交流・連携により人をひきつける四国	⑤多様性が尊重され、誰もが生き生きと活躍する四国	⑥地域産業の成長と創出により競争力を発揮する四国

■ 四国の最重要の課題

全国よりも早い人口減少

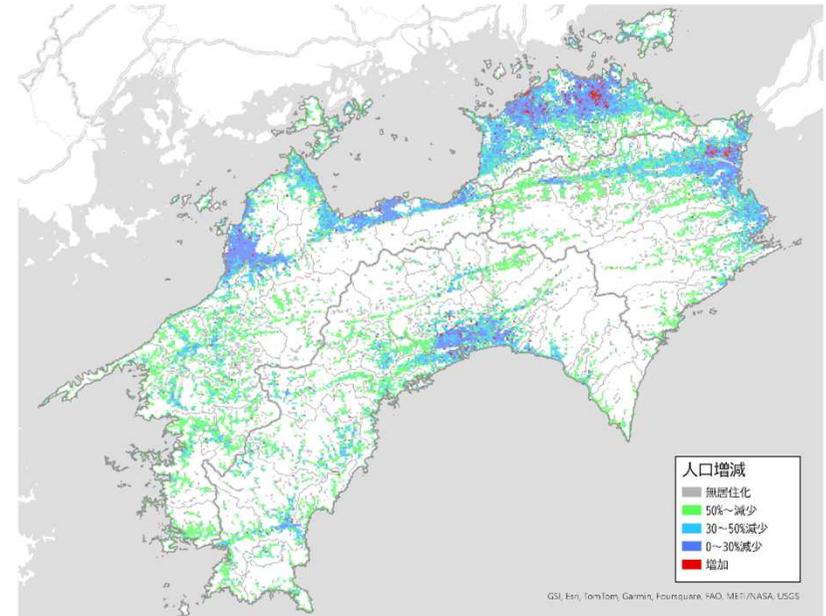
全国は2010年から減少
四国は1985年から減少(全国より25年早い)



出典)総務省統計局(国勢調査)
国立社会保障・人口問題研究所(日本の将来推計人口)

2050年には四国の95自治体の8割で、人口が30%減少する

将来の人口増減状況 2015⇒2050年
(1kmメッシュベース、四国圏)



0 25 50 km

(出典)総務省「平成27年国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成30年推計)」等をもとに国土交通省四国地方整備局作成。

キャッチフレーズの検討

これまで検討してきた四国圏の将来像及び目標よりキーワード抽出

四国圏の将来像	強くしなやかに 自然と共生 する 安全・安心 な四国		人と地域が混ざり合い 新たな魅力 を 創造 する四国		誰もが活躍し、 豊かに暮らせる 四国	
キーワード	自然と共生	安全・安心	新たな魅力	創造	誰もが活躍	豊かに暮らせる
四国圏の目標	①南海トラフ地震や風水害に対応する 安全・安心 な四国	②気候変動対策や 自然環境の保全 ・利活用により 自然と共生 する四国	③ 個性 ある地域が連携して 活力 あふれる四国	④ 歴史・文化 、風土を活かした 交流・連携 により人をひきつける四国	⑤ 多様性 が尊重され、誰もが 生き生き と 活躍 する四国	⑥ 地域産業の成長 と 創出 により 競争力 を発揮する四国
キーワード	安心・安全	自然と共生	個性	歴史・文化	多様性	成長と創出
		自然環境	活力	交流・連携	生き生き	競争力
					活躍	地域産業

キャッチフレーズについて

四国の最重要課題『人口減少』に対応、四国圏の将来像・目標から連想されるキーワードからフレーズ案を検討

フレーズ案	強くしなやかに自然と共生する安全・安心な四国	人と地域が混ざり合い新たな魅力を創造する四国	誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国	人口減少への対応
①ずっと暮らしたい	安心・安全、自然と共生、自然環境	新たな魅力、創造、個性、活力、歴史・文化、交流・連携	誰もが活躍、豊かに暮らせる、多様性、生き生き、成長と創出、地域産業	・災害や気候変動に対して安心・安全、文化、多様性の尊重、経済的安定、良好な人間関係といったウェルビーイングが「ずっと暮らしたい」と思える街となり人口減少への対応に繋がる
②癒やし	安全・安心、自然と共生、自然環境	新たな魅力、創造、個性、活力、歴史・文化、交流・連携	誰もが活躍、豊かに暮らせる、多様性、生き生き、成長と創出、競争力、地域産業	四国の特徴でもある「お接待文化」、自然、歴史・文化、多様性が「癒やし」となり人口減少への対応に繋がる
③持続可能	安全・安心、自然と共生、自然環境	新たな魅力、創造、個性、活力、歴史・文化、交流・連携	誰もが活躍、豊かに暮らせる、多様性、生き生き、成長と創出、競争力、地域産業	安心・安全、歴史・文化の保全、人の交流・連携、地域産業の競争力や成長や創出が人口減少への対応「持続可能」に繋がる
④新しい四国のかたち	安全・安心、自然と共生、自然環境	新たな魅力、創造、個性、活力、歴史・文化、交流・連携	誰もが活躍、豊かに暮らせる、多様性、生き生き、成長と創出、競争力、地域産業	新たな魅力、個性、現存する自然や文化で交流・連携が生まれることにより「新しい四国のかたち」人口減少への対応に繋がる
⑤豊かに暮らせる	安全・安心、自然と共生、自然環境	新たな魅力、創造、個性、活力、歴史・文化、交流・連携	誰もが活躍、豊かに暮らせる、多様性、生き生き、成長と創出、地域産業	安心・安全、自然・歴史・文化の保全、誰もが活躍し人の交流・連携が生まれ、地域産業の成長や創出により「豊かな暮らし」が実現し、人口減少への対応に繋がる

キャッチフレーズについて

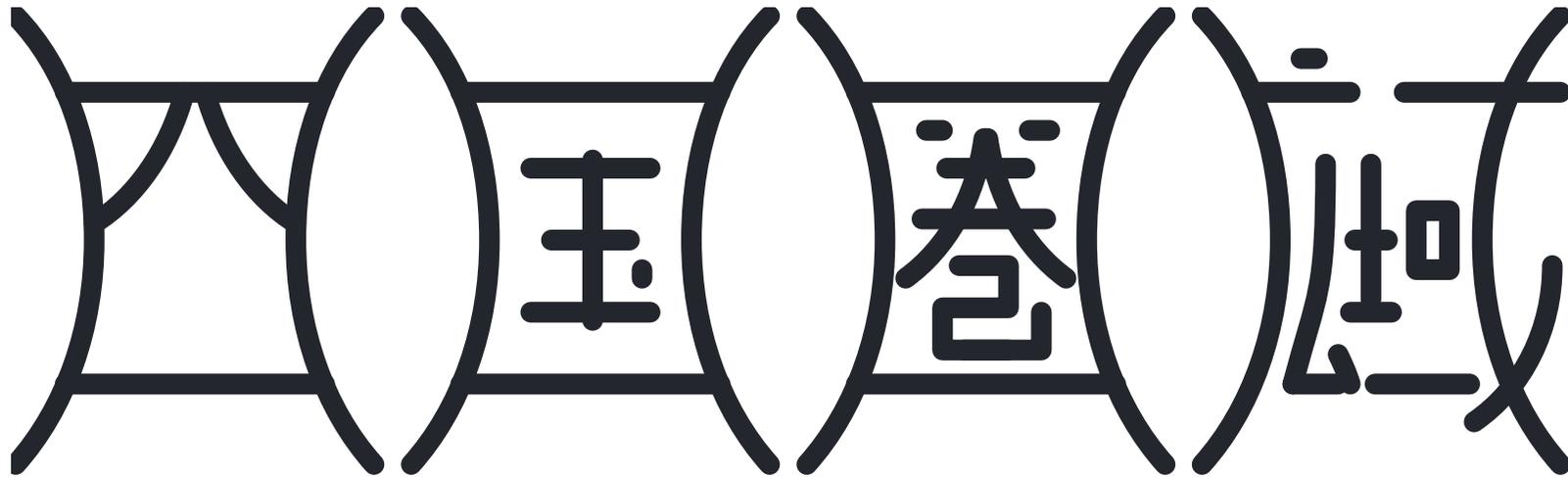
フレーズ案と四国圏の将来像・目標のキーワードを組み合わせ、キャッチフレーズ案を作成

No.	キャッチフレーズ案	想い
1	～このまちで、ずっと暮らしたい～ 誰もが活躍し、豊かに暮らせる四国	多様性の尊重、良好な人間関係といった ウェルビーイング が「ずっと暮らしたい」と思える街をつくり、深刻な人口減少下においても活力ある持続可能な四国を形成していく。
2	～成長と創出で未来へつなぐ～ 4県の個性が連携、新たな魅力を創造	個性あふれる 4県の連携 により 新たな魅力を創造 し、さらに 成長・創出 していくことで、深刻な人口減少下においても活力ある持続可能な四国を形成していく。
3	～「癒やし」と「お接待」の文化を未来へつなぐ～ 持続可能で活力ある四国づくり	豊かな自然による「癒やし」、お遍路の「お接待」文化を活かした交流を、より促進することで、 更に人をひきつけ、未来へと繋いでいき 、深刻な人口減少下においても活力ある持続可能な四国を形成していく。
4	～個性と人・自然・文化が響きあう～ いきいき、新しい四国のかたち	四国の魅力である自然、歴史、文化、風土を活かした個性ある地域・人の交流・連携を「 新しい四国のかたち 」として 地域生活圏の取り組み を表した。

四国圏広域地方計画ロゴ案の検討について

ロゴタイプデザイン案

- ・四国圏広域地方計画の文字のうち「**四国圏広域**」の5文字を用いたデザイン。
- ・**人々が手を取り合う様子**をイメージした曲線、多様な主体の連携を表現。
- ・**四国四県を意識**し、5文字の内容が**4文字に見える**ようなロゴタイプとした。



四国圏広域地方計画ロゴ案の検討について

シンボルマークのデザイン案A

- ・四国の形をベースに、“しなやかさ”を意識したやわらかな丸みと、“たくましさ”太いラインを用いたデザイン。
- ・四国四県を意識させるために海岸沿いの県境でカラーをわけて表現。
- ・それぞれのカラーは、各県の名産品を意識して設定。

みかん（愛媛県）



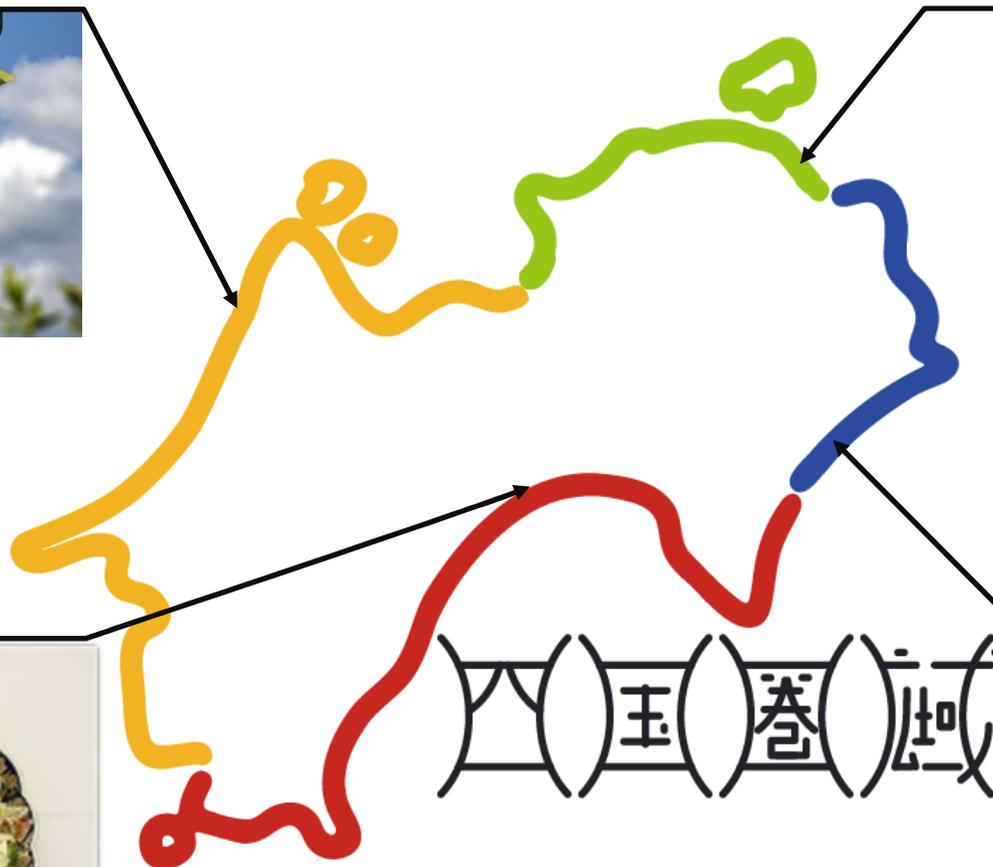
オリーブ（香川県）



たたき（高知県）



阿波藍（徳島県）



四国圏広域地方計画ロゴ案の検討について

シンボルマークのデザイン案B

- ・**ロゴタイプ**を中心に据え、本計画の要素である**まちづくり**、**産業振興等**と**四国のランドマーク**を**アイコン**で表現したデザイン。
- ・それぞれのカラーは、**デザイン案A**で設定した**各県のカラー**のグラデーションで着色。

石鎚山（愛媛県）



瀬戸大橋（香川県）



四万十川（高知県）

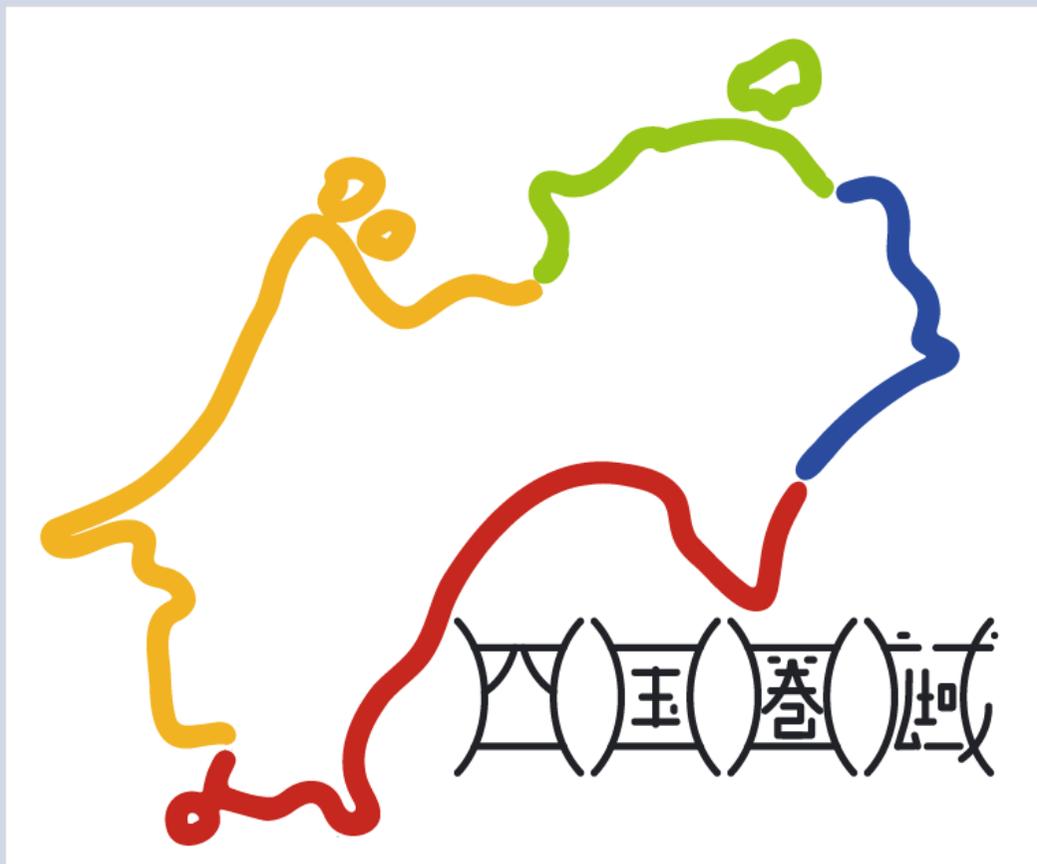


鳴門海峡（徳島県）



四国圏広域地方計画ロゴ案の検討について

デザイン案A



デザイン案B

